広報五城目

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課（電話 五城目 501番～505番） （一部五円）
印刷所 小浜印刷所 電話 6058番

季節の窓

こよみの上では11日がツユ入り。たしかにツユはうっとうしい。ややまたに雨の降るごとく…ともいったロマンチックなものではないしかし、ハナショウブ、アジサイ、サクランボなどの季節。ひやひやかなツユにぬれてこそいっそうあざやかな美しさを見せてくれる。ツユがあければ本格的な夏…。

六月の税金

◎町民税第一期
◎固定資産税第一期
◎国民健康保険税第一期
○○○○
それぞれ納期は六月三十日です道路の補修など町の事業がはじまっておりますので、是非納税にご協力ください。

五小の新築を検討

建設準備委員の初会合

五城目小学校の新築について早期実現に努力することを話しは、いまだ具体的な構想を練っておりますが、一万、馬川小学校統合の話題もでているので、この際百年の大計をたてるべきであるとの意見もあり、このたび、その建設準備委員を次のとおり委嘱し、六月一日午後一時から第一回目の会合をしました。

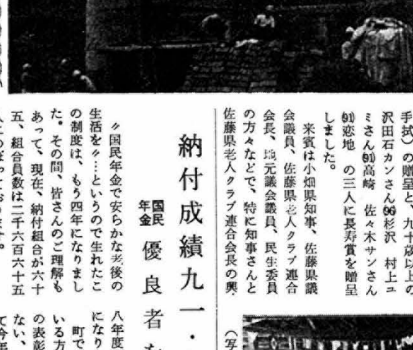
校舎の規模や敷地などについては、今後充分に検討を加え、

永井容子 高橋富吉 長谷川定作 渡部金之助 佐藤八郎 宮田峰次郎 今村方介 馬小築地俊竜（会長）斉藤正美（副会長）舘岡辰一郎（〃）伊藤博（〃）広嶋美穂子（婦人部長）斎藤薬子（副部長）一関ナエ（〃）猿田テル（〃）顧問 小玉太美雄（議会議長 桑山銀之助（同副議長）畠山豊 工藤善正 分銅良一 二木敬治 荒川豊治 伊藤卓治 工藤清悠 石川茂右ェ門の各文教社会委員

△執行部 小林助役 舘岡収入役 小林教育長桜田総務課長

ゴミ焼き炉・工事進む

1日に出るゴミの量は、約3トンから6トン位いにのぼる。町ではこれを焼却処分するため、東京太陽築炉工業と契約し、いま岡本の森山の麓に、工事を進めているが7月15日頃完成する



はくれない 登録 民忘れ お住

住民登録は私どもの生活に欠くことのできない大事なものです。うっかりしてこの手続きをしないために、思いがけない不利益をこうむることがありますから次のような場合はかならず手続きしてください。

◎他の市町村から引き越したとき…移動証明書を持参し転入届をします。
◎五城目町の区域内で引き越したとき…転居届をします。
◎世帯主や名前などの変更があったとき…変更届をします
◎海外に移住するとき…国外移住届をします。

これらの届出は世帯主か、あるいは本人が四日以内に居住地の役場戸籍係へ出してください。用紙は窓口に備えつけてあります。届け出ですときはハンコを必ず持ってきてください。お金はかかりません。

なお、住民登録の利用は①勝、抄本は戸籍謄抄本の代用②居住証明③印鑑証明④小、き…移動証明書中学校入学通知⑤選挙名簿⑥各種免許⑦国保の加入、保険金の受領⑧公営住宅の入居申込⑨米の配給、各種予防接種扶養手当の請求、不動産の登記などです。

余生を楽しく元気に

第一回全町老人クラブ福祉大会

第一回五城目町老人クラブ福祉大会は六月十四日午前十一時から、五城目小学校体育館で盛大に行なわれました。

当日は晴天に恵まれ、集まったおとしより方々は千四百人に達し、広い体育館も立すいの余地もないという盛況でした。五小鼓笛隊の演奏で、なごやかなうちに開会され、北島町長の長寿を祝う挨拶につき、記念品（手拭）の贈呈と、九十歳以上の沢田石カンさん(96)杉沢 村上ミさん(91)高崎 佐々木サンさん(91)恋地 の三人に長寿賞を贈呈しました。

来賓は小畑県知事、佐藤県議会議員、佐藤県老人クラブ連合会長、塩元議会議員、民生委員の方々などで、特に知事さんと佐藤県老人クラブ連合会長の興味あるお話しには、満場から拍手と笑いが送られました。

老人クラブ代表として坂谷八十治さんのことば、五高生徒による「老人クラブの歌」、小玉鼓長の音頭で万才を三唱し、大会を閉じました。昼食後は西野若妻会員の踊り、鳥井森鈴さん一行の民謡、踊り、曲芸、漫談など約三時間にわたる演芸で一日たのしくすごしました。

（写真 盛況であった大会）

納付成績九一・九%

国民年金 優良者を表彰

—38年度—

（写真 優良者を表彰）

〃国民年金で安らかな老後の生活を〃…というので生れたこの制度は、もう四年になりました。その間、皆さんのご理解もあって、現在、納付組合が六十五、組合員数は二千六百六十五人にのぼっております。

納付の成績も昭和三十六年度は七一・八%同三十七年度は八二・〇二%同三十八年度は九一・九%と年々上昇し、特に三十八年度は全県でもトップクラスになりました。

町では組合のために努力している方々や、全期前納した方々の表彰を五月二十六日役場で行ない、さらに協力していただいて今年度は百%完納を目指すことにいたしました。被保険者の方々も特にご協力願います。

なお、まだ納付組合を結成していないところは、早めに結成してください。十世帯以上五百円、二十一世帯以上千円の設立助成金を差し上げます。

◎表彰された納付組合（三カ年連続完納）
高千穂金納付組合（組合長小玉太美雄）落合〃（〃品山豊）八田〃（〃伊藤真一郎）門前〃（〃斎藤忠一）

◎表彰された個人
加藤ミヨさん（石崎 十八カ年全期前納）加藤まさ（〃 四十カ年全期前納）田仲与四郎さん（脇乙 十一カ年全期前納）田仲ハナさん（〃 十一カ年全期前納）

四氏に紺綬褒章

日赤事業に大口寄付をした功労で、次の方々が五月三十日県庁知事室で紺綬褒章を受けました。

渡辺喜兵衛氏 坂谷トミさん
渡辺輝さん 菊地ユキさん

町道改良工事はじまる

本年度の道路工事にともなう指名競争入札は、六月三日午後一時半から役場で行ないました。その結果は次のとおりです。

▲久保線改良 延長二百m巾三・六m、工事費三十七万二千円 七月十五日竣工（施行者 関吉郎氏）▲久保線改良は本年度で完成します。

▲中村線改良 延長九十七m巾四m工事費三十九万二千円、七月二十日竣工（施行者佐々木茂夫氏）▲今年度から継続実施

▲富田線改良 延長一二一m巾四～五m工事費三十八万六千円、七月二十日竣工（施行者原田俊三氏）▲継続事業

▲小倉線側落土防止工事を十八万円で猿田専三郎氏、北口繰砂利敷と側溝手入れ十九万八千円で、坂谷晴二氏が施行、いずれも随契で七月二十日頃竣工の予定です。

北海道物産展 千七百点出品

秋田県の物産と観光展は、六月九日から十日間札幌の今井本店で開かれますが、今年は百貨店出品としては最高で、即売と販路拡張の成果が期待されています。

七月三十一日は、国民年金保険料第一期分の納期限です。保険料は二十歳以上三十四歳まで毎月百円、三十五歳以上毎月百五十円。

赤痢、エキリ

バイキンはロから入り、潜伏期間は二日から四日くらいで、症状は発熱、下痢粘血便となります。この場合と、このバイキンになり、ハげしいエキリになり、時間の問題となりたいせつな一命をうばいとられます。

予防は手洗いから

赤痢には予防注射はありません。この予防はまず手を洗う以外に方法はありません。そのほか生水や生もの に注意することです。

日本脳炎

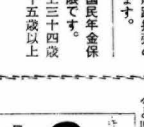
ばい菌は蚊によって運ばれます。特に10歳以下のこどもに多く、また60歳以上の老人もかなりかかりますから とはじめはさむけがかるそしてふるいが出39度から40度の高い熱がでて頭痛がめまい、はきけを起しやすいです。

予防は蚊の退治

蚊にさされないようにし過労、睡眠不足、昼いる日は長い時間日光にさらされないよう注意すること。

食中毒

イカ、タコ、マグロなどの魚類や、その加工品が食中毒のおもな原因です。〃まだだいじょうぶというふだんの油断を招く大きな原因〃と思って下さい。



赤痢、エキリ、日赤そろ食中毒、日本脳炎などおそろしい伝染病や、食中毒の多くなる時期をむかえました。みんなで注意し、快適な夏をすごしましょう。

第5回全町体育祭

6月28日・五一中グランドで

東京オリンピックもあと四か月たらずです。この意義あるスポーツの年に、ふさわしい全町体育祭を次のとおり行ないますから、二万一千町民こぞって参加してください。

▽名称 第五回全町体育祭

▽主催 町・町教育委員会

▽主管 中央公民館

▽協賛 町体育指導委員会 同体育協会 地区公民館

▽後援 各町内部落会

▽期日 六月二十八日（日曜）雨天などで実施できないときは七月五日（日曜）

▽時間 午前九時集合 九時四十分入場行進 十時開会式

▽会場 五城目一中グランド

▽参加資格 ①町民であること ②居住する町内部落からの出場であること。ただし町内部落が三十戸未満のところは、隣接町内部落と合同してもさしつかえありません。

▽開催要領

(1)五小鼓笛隊パレードは午前八時五十分、小学校前を出発九時二十分～九時四十分グランド一周

(2)入場式は九時四十分～十時十分までで、各チームは先導者に続き国旗、町旗、役員団、前年度優勝チームの順にブラスバンドの伴奏で入場、グランドを一周します。

▽採点と授賞

(1)採点 一位七点 二位六点 三位五点 四位四点 五位三点 六位二点 七位以下一点（参加点）

(2)賞品 一位から六位まで賞品を授与。

(3)表彰 ①競技＝総合得点の多い順に優勝旗、優勝楯、入賞楯を授与。②応援＝優秀なもの三位まで賞状、入賞楯を授与③参加チームには参加賞、入賞チームには副賞を授与④参加チームには出場助成金支給。

▽選手の出場制限 選手は一人一種目とし、同じ選手が二種目以上へ出場した場合は、その種目に限り失格とす（特定の選手による競技でなく、一人でも多くの選手が出場できるようにするための制限）

▽体育祭開催可否の連絡

(1)実施する場合＝午前六時、七時、八時、九時、十時の五回のろしをあげる。

(2)実施しない場合＝本町は有線放送に依頼してその旨を放送。その他の地区へは電話、広報車などで連絡しますが、電話のあるところは中央公民館（電話四一四番）へ問い合せください。

▽その他

(1)マスゲームは昼食直前に婦人会、若妻会、青年会その他の有志によって東京五輪音頭、日本よいとこ、はりきり音頭を踊ります。

(2)各チームのプラカードは、主催者側で準備します。

(3)体育祭の運営をスムースにするために、時間については特にご協力ください。

(4)体育祭についての不明な点がありましたら、中央公民館へお問い合せください。

かわいい子どもを

夏期の事故から守ろう

子どもたちの水遊びや花火遊びが、そちこちで見られるようになりました。最近子どもによるこれらの事故が多くでておりますが、これからますます暑さが加わるとともにさらにふえることが予想されるので、とくに水死事故およびがん具、花火などによる事故を防止するため、次のことがらに注意してください。

☆水の事故防止

1近くの川、下水溝・溜池・沼などは、子どもたちの遊び場になりますから、あぶないところには行かないように教えましょう。

2立札・柵ぐらいのことでは効果がありませんし、また無理にとめてもかえって家族にかくれて出るようなことがあります。子どもたちの遊び場に対し、理解をもち相談相手になるようにいたしましょう。

3事故は低学年の者同志とか幼い子どもだけを留守にしておいた場合に多いようです。子ども会、親の会などで話合いをして、自主的に守らせる方法を考えて見たいものです。

4雨の後の川は増水で、思いがけないところに深い箇所ができたり、流れが変っていることがあります。川の様子をよく調べて、隣り近所で連絡し合うようにしましょう。

☆がん具遊びの事故防止

1花火遊びなどするときは、かならず大人などがよく見てやるようにしましょう。

2建物や人ごみ、もえやすいものの近くではしないことです。

3風の強い日は、花火遊びをしないように教えましょう

4花火は一つずつ別々に使い一回に数個まとめて使用することは危険です。

5ときほぐして火薬だけ集めてもてあそぶことは、絶対にしないことです。

6巻いてある紙がほぐれたり破れたりしているものは、すぐ水に溶かしてすてること。

※学校の理科学習などでおぼえたというだけで、自由勝手に火薬類を製造することはできません。

〃暴力的迷惑行為を、みんなの力でしめだそう〃

私と関係ない―これが暴力をはびこらせるのです。

「見た〃 聞いた〃 やられた〃」すぐ警察へ。

（五城目警察署）

商業統計調査にご協力ください

七月一日現在で商業統計調査が行なわれます。この目的は全国の商店について、その分布状況、商業活動などの実態を明らかにするもので、税金などに利用されるものではありません。

調査の内容は①経営の組織と資本金②開設した年③売り場の面積と従業者数④本年六月一日から同三十日までの月間販売高並びに、昭和三十八年七月一日からことしの六月三十日までの年間販売高⑤商品の仕入先とおもな販売先⑥経営経費と設備…などがおもなるもので、県知事から任命された調査員が、各商店へお伺いすることになっていますので、ご協力をお願いします。

町の教育を盛りあげよう

教育振興大会開く

多年の懸案であった本町の教育振興大会は、その宿願が実り、五月二十七日午後一時半から、五城目小学校で第一回の大会を開きました。

この大会は町教育委員会が主催、町内校長会が協賛して開かれたものですが、その大きな目的はお互いの意見や学校側の要望などを出し合い、本町の教育発展をはかろうというものです。

研究討議では「児童生徒の学力を向上させるにはどうすればよいか」「施設や設備の充実をはかってもらいたい」「事務の簡素化」「町内教員の研修」など、三十ほどの議題について真剣な意見の交換がありました。

なお、本町には小学校八、中学校六、幼稚園三があり、その職員数も二百五十名にのぼっていますが、ふだんお互いの顔を合わせる機会もないだけに、当日は百九十名の出席で、熱心な討議と各学校代表によるレクリエーションもあり、なごやかなひとときを過ごしました。この大会を機会に、今後も継続的に開き、町の教育を盛りあげてゆくことを誓い合いました。

農業に誇りと希望を

青少年育成協議会誕生

農業に従事する青少年が、希望と誇りをもって、その経営や生活改善に当たれるような、気運と環境をつくり、かつ、それに必要な知識と技術の向上をはかり、すぐれた農業者を育成する目的で、「五城目町農業青少年育成協議会」が誕生しました。

協議会は町長以下各関係者二十二名の委員で組織され、六月十日第一回目の協議会を役場で開きましたが、この事業の推進体制は役場、農業委員会、教育委員会、農業改良普及所、農業協同組合、森林組合が推進機関となり、秋田農林事務所、県教育庁出張所分室の指導助言によって、次のことがらをおし進めることになります。

①総合企画調整（事業の企画調整や財政措置、運営など）

②研究グループ育成（実態調査グループ活動の計画指導など）

③農業近代化ゼミナール＝同共研究＝（集合学習、計画指導、視察留学研修など）

④ラジオ農業学校（テキストの配布やテープの再生など）

⑤交換大会（県交換大会への参画など）

なお、この組織と関連して「農業近代化学習院」を中央公民館に開設し、一人百時間以上の学習をすることになります。

史跡めぐり

山内城 その二

落城は天正十六年頃か？

郷土史研究家 分銅志静

山内城（五十目城ともいう）の落城については諸説粉々で帰するところがない。正確な文献が一つもないので、学問的には不明というよりほかにない。ただ近世にはいってからつくられた軍記物などによって、おぼろげに輪郭がわかるだけである。それも推理小説の域を出ないのである。

この山内城は天正十六年頃の秋田安東氏の内乱の時に落城したものと思われるが、その内乱というのは秋田・山本・比内の三郡を領し、羽後の中心勢力であった安東一族のいわばお家騒動で、檜山の安東実季と土崎湊の安東道季のイトコ同志の戦いである。

当時、この五城目附近は勿論安東氏の支配下にあって、山内城・馬場目城・浦城の三浦一族は実季の父の愛季（ちかすえ）に従っていた。この愛季は知勇兼備、野戦攻防の名将で、南部の軍勢といえど、この愛季には手が出なかったほどである。

ところが愛季が仙北の戸沢氏との戦いの陣中で病死すると、その甥にあたる湊の道季が頭をもたげ、本家筋の檜山にそむいて、自分が安東氏の実権をにぎろうとした。一説では戸沢氏がそれをけしかけたともいう。しかもその時愛季は十三才か十四才で、まだ元服前であった。

しかし実季には愛季に仕えた千軍万馬の不敗の武将達がついており、緒戦には敗れたとはいえ、要害無比の檜山城に籠城、道季と戸沢の連合軍にあたることとなった。

一方道季軍は十倍の兵力をもって、檜山城を包囲した。まさに秋田を二分する大決戦となった。この戦は百六十日におよんだという。ところがわが三浦一族は大義名分からすれば、当然檜山勢につくべきであるのに、緒戦の旗色をうかがって、優勢な湊勢に組し、包囲軍の一翼に加わった。

それればかりでなく山内城の三浦季兼は実季の命令で、大館城の出丸である十二所の押しに居城し、南部勢に備えていたが、お家騒動が起き、実季籠城と聞くと、安東家に見切りをつけ、逆に南部に密通し、南部の大館城攻略に一役買ったのである。

南部勢は大将信直自ら軍をひきいて、天正十六年九月三日、三ノ戸を出陣、鹿角を経て、比内に押し入った。実季は籠城の最中で、手も足も出ず、大館城代和田内膳等の善戦を見殺しにした。かくして大館城も落ち、比内はむざむざ南部のものとなった。

（つづく）

× ×

論文を募集

内容は農業の近代化

農村の暮しを、もっと豊かで楽しいものにしよう、と願う農民の意欲が、国の構造改善事業という強力な政策とあいまって大きく盛りあがっておりますが本町でも〃もうかる農業〃〃食える農業〃の構想を、各関係機関が一体となって検討しております。この「青写真」の成果がより理想的に、より現実的にするため、建設的な論文を募集します。あなたの、すぐれたご意見をどしどしお寄せください。

★対象 五城目町に居住する農業経営者か農業の専業従事者で、年令男女問わない。

★趣旨 近代化農業を進めるためのもので、本町に適応した建設的なもの。

★字数 千五百から千六百字（四百字詰め原稿用紙四枚以内）

★締切 昭和三十九年七月三十日

★提出先 五城目町役場経済課

★表彰と発表 最優秀賞一点入選二点佳作三点で、最優秀作品は町広報で発表する。表彰は産業祭で行なう。

刀剣類は登録して

銃砲刀剣類の「登録審査」は毎年実施していますが、未だ登録しないで所持している数が、相当数に及ぶものとみられておりますので、該当者は「法」の裁きを受けないうちに、さっそく登録されるよう望まれております。

登録は次のようにして出来ます。

一、登録審査期日

6月26日（金）

二、登録審査会場

秋田市日米文化会館会議室（県立図書館の中）

三、登録審査時間

前9時～後4時

四、登録審査要領

1諸手続きは審査会場で簡単に出来るようになっています。

2登録審査の当日会場へ登録審査を受けようとする「現物」「印鑑」「手料数」（手数料は1件150円）を持参すればできます。